

2016年

鎌倉人・第27号

鎌倉市議会議員

永田 まりな



1983年2月19日生まれ 33歳 AB型 七里ガ浜在住

聖路加幼稚園、七里ヶ浜小学校、北鎌倉女子学園中学校、鎌倉高等学校、フェリス女学院大学卒業

2004年度ミス鎌倉 鎌倉ケーブルテレビリポーターを経て大学卒業後はフリーアナウンサーとして活動

2013年市政へ挑戦 4月鎌倉市議選初当選 総務常任委員会・広報委員会副委員長・農業委員会担当

北鎌倉隧道付近の一部が崩落！

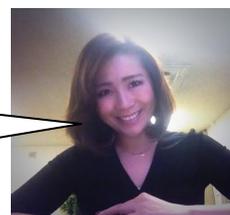
8月11日の夕方、北鎌倉隧道付近の一部が崩落しました。北鎌倉隧道について鎌倉市議会では安全性重視の観点から隧道開削の予算案がいったん可決されましたが、その後、文化庁からストップがかかり現在開削工事は中断され、トンネル工事については、出来る限り尾根を残すよう現在の工法を見直すこと、工法見直しに時間がかかるため仮設工事を出来るだけ早い時期に行い通行可能な状態にすること、そして、仮設工事に関しても文化庁と相談の上行う、と7月26日に報告を受けたばかりでした。

通行止めになっていたこともありけが人が出なかったことが不幸中の幸いですが、一番恐れていたことが起きてしまいました。今後については、今回の崩落についての検証などまだこれからのようですので、対応を注視していきますが、とにかく市民の命、そして安全を第一に考えた対応を望みます。

大学生インターンが来ています！

昨年より夏期・春期と大学生インターンの受け入れをしています。毎回それぞれのカラーがあり、私が大学生から色々と刺激をもらっています。今期は男子・女子学生それぞれ一名ずつの参加となりました。早速駅頭や、海のパトロール等、活動を共にしています。活動の一貫で、今回の鎌倉人の記事を一緒に作成してみよう！ということになり、この27号裏面の2記事は学生が興味のあるテーマを決めデータ等担当課に聞き取りを行い作成したものに私の視点や考えを取り入れ編集したものとなっています。9月末まで活動しますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

連絡先は
下記の通りです



〒248-0025 神奈川県鎌倉市七里ガ浜東 5-1-12

TEL/FAX 0467-31-1746

Email: nagatamarina2013@gmail.com

HP: <http://nagata-marina.com/>

FB: 「永田まりな」で検索！

www.facebook.com/nagatamarina.kamakura

Twitter: @nagamari0219

毎月第3土曜日に市政報告会「まりな会」を実施中

(議会月を除く…詳しくはHP等にてご確認ください)

【討議資料】

鎌倉市、渋滞緩和への道のり

観光地としての鎌倉と市民の間のストレスとして挙げられる問題と言えば、渋滞問題を上げる方が多いのではないのでしょうか。平成 25 年の延入込観光客数は約 2300 万人であり、自家用車で観光に来る人々の流入があるとされています。渋滞は休日のお昼前後である 9 時～16 時頃が著しく、慢性的に渋滞する交差点は滑川交差点、下馬交差点、八幡宮前交差点、明石橋交差点です。これにより、緊急車両の遅れが生じたり、鎌倉市民が公共交通機関を利用する際の利便性が低下したりする事例があげられます。このような問題を解決するために、鎌倉市は平成 8 年から 20 の施策を行っています。これは渋滞緩和対策で、社会実験を行った上で本格実施がなされています。現在実施されているものには、主にパークアンドライドと鎌倉フリー環境手形の二つがあります。パークアンドライドは、観光客が集中する中心地に車が入らないよう、郊外に車を留めて目的地まで公共機関を使おうという施策であり、現在は七里ガ浜・稲村ヶ崎・江の島・由比ヶ浜に駐車場があります。鎌倉フリー環境手形は、電車で鎌倉に来ると指定区間の電車が乗り放題になったり拝観料や入館料が割引になったり、様々なサービスを提供することで電車での来訪を促進しようとする施策です。しかしその効果を実感している市民が少ないのではないのでしょうか…。観光客への周知方法含め、実施されている施策の検証は必須です。また、現在検討されている施策に（仮称）鎌倉ロードプライシングというものがあります。これは、自動車の利用を減らすために来訪車両に課金をする仕組みです。日本初の試みであるため、国の法律や地元の方との兼ね合いが課題であり、まだ実現していません。今後も観光客と市民がウィンウィンな関係になるよう観光施策と交通施策への取り組みを積極的に進めていくことを望みます。

「18・19 歳の選挙」

平成 28 年 7 月 10 日に第 24 回参議院選挙が行われました。選挙権が 18 歳以上に引き下げられてから初の選挙ということで候補者や公約だけでなく 18・19 歳の有権者にも注目が集まりました。全国的には 18 歳の投票率は 51% で 3 年前の 20 代投票率が 30% 台であったことと比べて高い数値を出しました。一方で鎌倉市は 20 代は全国と同じように投票率が低い結果となりましたが、18 歳投票率で 66% と全国と比較してもより高い数値を出しています。

鎌倉市選挙管理委員会と市明るい選挙推進協議会は平成 27 年 2 月から「模擬選挙」の出前授業を行ってきました。27・28 年と 2 年連続で市内 5 校の中学 3 年生に実施し、平成 27 年御成中学校での出前授業のアンケートでは政治や選挙への関心が高まったと 72% が答えています。出前授業を受けた生徒たちが 18 歳になり有権者となった時の投票率が今から楽しみです。若者の力を政治が必要としている今、より早く選挙権を持ち、社会の一員であるという意識を持った若者が多く現れることが期待されるのと同時に、10 代にどう政治への興味を持ってもらうのか各自治体の取り組み、そして私たち政治家たちは試されているのかもかもしれません。

[下図] 24 回参議院選挙投票率 単位：% （総務省・鎌倉市選挙管理委員会）

